

坂城町内遺跡発掘調査報告書2014

—平成26年度試掘・立会い調査報告書—

2015.3

坂城町教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県埴科郡坂城町における開発事業に伴う、平成26年度の町内遺跡の試掘調査及び立会い調査の報告書である。
- 2 調査の費用は、国庫の補助金及び町費にて対応した。
- 3 調査の体制
担 当 者 青木 昌也（文化財センター所長）、時信 武史（坂城町教育委員会学芸員）
協 力 者 朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、萩野れい子（以上、町臨時職員）
- 4 事務局の構成
教 育 長 宮崎 義也
教 育 文 化 課 長 柳澤 博
文化財センター所長 青木 昌也（文化財係長兼務）
文 化 財 係 時信 武史
赤池 利博、朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、
中沢 あつみ、萩野れい子（以上、町臨時職員）
- 5 本書の執筆・編集は青木・時信が行った。
- 6 本書及び調査に関する資料は、坂城町教育委員会の責任下において保管されている。

凡 例

- 1 本文中の面積は、開発対象面積と調査面積を記載し、()内に調査面積を記載した。
- 2 挿図の縮尺は、各図に縮尺を示した。
- 3 報告書抄録に記載された北緯・東経の座標値については、平成14年4月1日から施行された測量法改正に伴う、世界測地系に基づいた数値を記載した。

目 次

例 言 凡 例

第Ⅰ章 坂城町の遺跡の立地と環境	1
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	1
第Ⅱ章 試掘調査の結果	6
1 田町遺跡群10	6
2 廻り目遺跡4	8
3 上五明条里水田址22	10
4 大木久保遺跡4	12
5 上五明条里水田址23	14
第Ⅲ章 立会い調査の結果	16
報告書抄録	

第 I 章 坂城町の遺跡の立地と環境

第 1 節 地理的環境

坂城町は北信地方と東信地方の接点にあたり、善光寺平を構成する更埴地方の最南端に位置する。町の地形は、中央部を貫流する千曲川の氾濫によって形成された氾濫原と、千曲川に流れ込む小河川がつくりだした扇状地によって形づくられた小盆地（坂城盆地）に特徴がある。町の北から東にかけては五里ヶ峰・大峰山・虚空蔵山をはじめとする標高1100～1300m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界を形成し、西は大林山、三ツ頭山などの標高1000m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界となっている。南は千曲川右岸の岩鼻と左岸の半過の岩鼻が狭隘な地形を形成し、上田盆地と隔てられている。このような地形から、古来よりこの地域は千曲川流域の要衝の地として注目されてきた。

この地域の気候は、南北に開けた小盆地状をなしていることから、季節風の影響を受けやすいため、夏季は南風、冬季は北風が強い。また、盆地状になっていることから寒暖の差が大きい。降水量は少なく、日本で最も雨量の少ない地域の一つとされている。現在では、この気候も関連し、工業が主要な産業となっており、農業では、りんご・バラ・ぶどうの栽培が盛んである。

第 2 節 歴史的環境

ここで、坂城町の各時期について代表的な遺跡を挙げながら、町の歴史的環境について概略的にふれておきたい。（括弧内の数字は 3、4 ページの坂城町遺跡分布図における遺跡番号を示す）

坂城町で最古の遺物は、約14,000～15,000年前の後期旧石器時代の上ヶ屋型彫刻器とされる石器である。この石器は南条地区の保地遺跡（3-1）より採集されたものであるが、本出土品以外には込山D遺跡に槍先型尖頭器の出土があるが、詳細は不明である。

縄文時代の遺構・遺物では早期押型文系の土器が坂城地区の和平A遺跡や平沢遺跡で採集されている。また、平成12年度に発掘調査が実施された坂城地区の込山C遺跡（30-3）からも押型文系の土器片が少量出土しているが、これらは現在整理中である。この他に縄文時代前期・中期の土器も出土している。後期・晩期では、学史的にも有名な保地遺跡が挙げられる。保地遺跡は昭和40年度と平成11年度に発掘調査が実施されている。前者は縄文時代後期後半から晩期後半までの土器・石器群と、後期後半に属するとされる特殊儀礼的遺構の検出が『考古学雑誌』に報告されている（関 1966）。後者については、縄文時代晩期に位置づけられる再葬墓が検出されており、中でも約19個体分の人骨が埋葬された2号墓址が目される。その他、坂城地区の込山D遺跡（30-4）から昭和初期に採集された透光器土偶の頭部がある。

弥生時代では、中期以前の調査例がないため状況は不明である。後期後半では、平成5年度に南条地区の塚田遺跡（1-7）で発掘調査が実施され、この時期に属する竪穴住居址36棟をはじめとする遺構が検出され、土器、石器、土製品、及び鉄製品が出土している。

古墳時代では、前期古墳は確認されていないが、中期古墳には中之条地区の仮称東平1号墳・2号墳が挙げられる（註1）。これらは、平成5年度に実施された上信越自動車道建設に伴う発掘調査で、輪軸や土器などの出土品から、1号墳は5世紀第2四半期後半、2号墳は5世紀第2四半期前半に位置づけられた（若林1999）。後期古墳では、町内でいくつかの古墳群の存在が知られているが、中でも代表的なものは村上地区の福沢古墳群小野沢文群に属する御野社古墳である。埋葬施設に千曲川水系最大級の横穴式石室を持ち、

全長11.2mを測り、勾玉や切子玉、耳環などが出土している。古墳時代後期の集落址は町内においても多く検出され、特に環状に土器が配列された祭祀遺構が検出された南条地区の青木下遺跡（1-8）が目目される。

奈良時代・平安時代の遺跡では、中之条地区の中之条遺跡群（8）とその周辺遺跡に多くの調査例があり、この地域における奈良・平安時代の状況が徐々に解明されつつある。具体的には、寺浦遺跡（8-1）、上町遺跡（8-2）、東町遺跡（8-3）、宮上遺跡（8-5）、北川原遺跡（8-6）、豊饒堂遺跡（20）、開鉄遺跡（21）で調査が実施され、古墳時代後期後半～平安時代までの集落址が判明している。また、平安時代の生産遺跡として坂城地区の土井ノ入窯跡（32）があり、瓦の生産が行われていたことが判明し、本遺跡で生産された瓦は、現在の坂城小学校がある場所に8世紀末～9世紀頃に存在していたとされる込山廃寺（54）に用いられたほか、上田市信濃国分寺・国分尼寺、千曲市正法廃寺の補修用の差し瓦として使用されていたことが判明している。

平安時代後期、寛治8年（嘉保元）（1094）に村上地区に配流されてきた源盛清が後に村上氏として勢力を持つようになり、戦国時代には村上義清が活躍するようになった。義清の頃、村上氏の居館は現在の坂城地区の満泉寺一帯に所在したとされ、その背後にそびえる葛尾山の山頂には、義清が使用した葛尾城跡（44）がある。このほか、中世の遺跡では坂城地区の観音平経塚（55）をはじめとする経塚と中之条地区の開鉄製鉄遺跡（53）がある。観音平経塚は昭和54年と平成4年に調査が行われたが、平成4年の調査では、経塚の年代は14世紀第2四半期とされ、その周辺の五輪塔群の造営時期は14世紀第2四半期から16世紀前半頃に位置づけられている（若林1999）。開鉄製鉄遺跡は、昭和52・53年に坂城町教育委員会によって学術調査が実施され、16世紀頃の製鉄炉址2基が確認されている。この調査は県内初の製鉄遺跡の学術調査として学史に位置づけられるものであった。

江戸時代に入ると、現在の坂城地区を主体とする坂木村、中之条地区を主体とする中之条村には幕府の代官所が置かれ、以後明治維新まで天領として支配された。このことから、この地域を重要視していたことが看取される。代官所は最初、坂木（61）に置かれたが、明和4年（1767）に焼失し、その後、安永8年（1779）には中之条に代官所が置かれるようになった。

以上、近世までの坂城町の歴史を概略した。

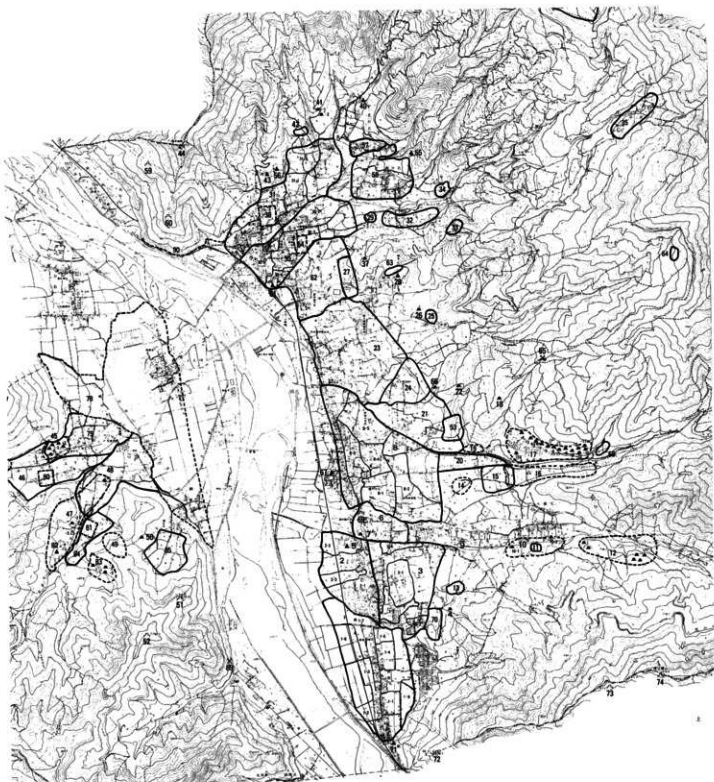
註1 周知の御堂川古墳群東平支群1号墳・2号墳とは異なる可能性があるため、仮称とされている。今後、正式な古墳名称の確定が必要である。

参考文献（五十音順・敬称略）

- 坂城町教育委員会 1978『開鉄製鉄遺跡—第1次調査報告』1979『開鉄製鉄遺跡—第2次調査報告』1993『宮上遺跡Ⅱ』1996『東高遺跡』1996『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺義遺跡・東町遺跡』1996『寺浦遺跡Ⅱ』2000『開鉄遺跡Ⅲ』2001『宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』2002『保地遺跡Ⅱ』
- 岡 孝一 1966『長野県地質部保地遺跡発掘調査報告』『考古学雑誌』第51巻第3号
- 森崎 隆ほか 1981『坂城町誌』中巻 歴史編（一）
- 柳沢 亮 1998『第5号 開鉄遺跡』『北陸新幹線福井文化財発掘調査報告書2』（財）長野県福井文化財センター
- 若林 卓 1999『第9章 東平古墳群』『第11章 観音平経塚』『上信越自動車道福井文化財発掘調査報告書2』（財）長野県福井文化財センター



試掘調査位置図 (1 : 25,000)



板城町遺跡分布図

図面番号	遺 跡 名	種 別	時 代
1	南島遺跡群	高塚址	弥生~平安
—1	南島遺跡群 真夏遺跡	高塚址	弥生~平安
—2	南島遺跡群 御影宮遺跡 (墓所)	高塚址	弥生~平安
—3	南島遺跡群 百々日利遺跡	高塚址	弥生~平安
—4	南島遺跡群 中町遺跡 (新址)	高塚址	弥生~平安
—5	南島遺跡群 田町遺跡	高塚址	弥生~平安
—6	南島遺跡群 蔵り目遺跡	高塚址	弥生~平安
—7	南島遺跡群 塚田遺跡 (田原)	高塚址	弥生~平安
—8	南島遺跡群 青木下遺跡	水田址、高塚址	弥生~平安
2	金井西遺跡群	高塚址	縄文~平安
—1	金井西遺跡群 金井遺跡	高塚址	縄文~平安
—2	金井西遺跡群 社宮神遺跡 (金井田)	高塚址	縄文~平安
—3	金井西遺跡群 越木下遺跡	高塚址	縄文~平安
3	金井東遺跡群	高塚址	縄文~平安
—1	金井東遺跡群 保地遺跡	高塚址	縄文~平安
—2	金井東遺跡群 山金井遺跡	高塚址	縄文~平安
—3	金井東遺跡群 大木久保遺跡 (南島小学校敷地)	高塚址	縄文~平安
—4	金井東遺跡群 越玉遺跡	高塚址	縄文~平安
4	黒ヶ守古墳	古墳	古墳
5	社宮神遺跡	経塚	中世
6	町見尾遺跡	古墳	縄文~平安
7	北浜古墳	古墳	古墳 (後期)
8	中之島遺跡群	高塚址	縄文~平安
—1	中之島遺跡群 寺道遺跡	高塚址	縄文~平安
—2	中之島遺跡群 上町遺跡	高塚址	弥生~平安
—3	中之島遺跡群 東町遺跡	高塚址	弥生~平安
—4	中之島遺跡群 北浦遺跡	高塚址	縄文~平安
—5	中之島遺跡群 宮上遺跡	高塚址	縄文~平安
—6	中之島遺跡群 北川原遺跡	高塚址	縄文~平安
9	南原穴古墳 (塚穴古墳)	古墳	古墳 (後期)
10	香川古墳群	古墳	古墳 (後期)
—1	香川古墳群 入横尾支那 内田古墳	古墳	古墳 (後期)
—2	香川古墳群 入横尾支那 沼崎古墳	古墳	古墳 (後期)
11	入横尾遺跡	古墳	平安
12	香川古墳群 上原支那	古墳	古墳 (後期)
13	前原遺跡群	墳 墓	中世~近世
14	御堂川古墳群 山口支那	古墳	古墳 (後期)
15	山崎遺跡	古墳	縄文
16	御堂川古墳群 山崎支那	古墳	古墳 (後期)
17	御堂川古墳群 跡山支那	古墳	古墳 (後期)
—1	御堂川古墳群 跡山1号墳	古墳	古墳 (後期)
—2	御堂川古墳群 跡山2号墳	古墳	古墳 (後期)
—3	御堂川古墳群 跡山3号墳	古墳	古墳 (後期)
—4	御堂川古墳群 跡山4号墳	古墳	古墳 (後期)
—5	御堂川古墳群 跡山5号墳	古墳	古墳 (後期)
—6	御堂川古墳群 跡山6号墳	古墳	古墳 (後期)
—7	御堂川古墳群 跡山7号墳	古墳	古墳 (後期)
—8	御堂川古墳群 跡山8号墳	古墳	古墳 (後期)
—9	御堂川古墳群 跡山9号墳	古墳	古墳 (後期)
—10	御堂川古墳群 跡山10号墳	古墳	古墳 (後期)
—11	御堂川古墳群 跡山11号墳	古墳	古墳 (後期)
—12	御堂川古墳群 跡山12号墳	古墳	古墳 (後期)
—13	御堂川古墳群 跡山13号墳	古墳	古墳 (後期)
—14	御堂川古墳群 跡山14号墳	古墳	古墳 (後期)
18	御堂川古墳群 東平支那 二塚古墳	古墳	古墳 (後期)
19	御堂川古墳群 山田支那	古墳	古墳 (後期)
20	藤原遺跡群 (山崎古墳群)	高塚址	縄文~弥生
21	藤原遺跡群	高塚址	弥生~平安
22	人形古墳	古墳	古墳 (後期)
23	向ヶ原遺跡群	高塚址	縄文~平安
24	虎久保遺跡群	高塚址	古墳~平安
25	入田遺跡群	古墳	弥生~平安
26	塚内古墳 (御影宮古墳)	古墳	古墳 (後期)
27	金比羅山遺跡群	古墳	縄文~平安
28	岡平経塚	経塚	中世
29	尾ノ原遺跡群	塚 跡	平安
30	丸山遺跡群	高塚址	縄文~平安
—1	丸山遺跡群 丸山A遺跡 (水上)	高塚址	縄文~平安
—2	丸山遺跡群 丸山B遺跡 (社宮神)	高塚址	縄文~平安
—3	丸山遺跡群 丸山C遺跡 (丸山)	高塚址	縄文~平安
—4	丸山遺跡群 丸山D遺跡 (横町)	高塚址	縄文~平安
—5	丸山遺跡群 丸山E遺跡 (立町)	高塚址	縄文~平安
31	日名河原遺跡群	高塚址	弥生~平安
—1	日名河原遺跡群 日名河原遺跡	高塚址	弥生~平安
—2	日名河原遺跡群 丸山遺跡	高塚址	弥生~平安
32	土井ノ入遺跡群	塚 跡	弥生~平安
33	平林遺跡	古墳	縄文

図面番号	遺 跡 名	種 別	時 代
34	僅外遺跡群	塚 跡	平安
35	平沢遺跡	古墳	縄文
36	和乎遺跡群	高塚址、新古墳	縄文~平安
—1	和乎遺跡群 和乎A遺跡	高塚址	縄文~平安
—2	和乎遺跡群 和乎B遺跡	古墳	弥生
—3	和乎遺跡群 和乎C遺跡	古墳	平安
37	金比羅山古墳	古墳	古墳 (後期)
38	村上氏経塚	経塚	中世
39	長ノ原遺跡	古墳	縄文
40	北日名経塚	経塚	中世
41	北日名塚穴古墳群	古墳	古墳 (後期)
—1	北日名塚穴6号墳	古墳	古墳 (後期)
—2	北日名塚穴2号墳	古墳	古墳 (後期)
42	樽ノ木遺跡	古墳	縄文
43	栗田遺跡	塚 跡	弥生
44	葛田遺跡	塚 跡	中世
—1	出流河古墳群 出流河1号墳	古墳	古墳 (後期)
—2	出流河古墳群 出流河2号墳	古墳	古墳 (後期)
—3	出流河古墳群 出流河3号墳	古墳	古墳 (後期)
—4	出流河古墳群 出流河4号墳	古墳	古墳 (後期)
—5	出流河古墳群 出流河5号墳	古墳	古墳 (後期)
—6	出流河古墳群 畠支那1号墳	古墳	古墳 (後期)
—7	出流河古墳群 畠支那2号墳	古墳	古墳 (後期)
45	島津遺跡	高塚址	弥生~平安
46	飯沢古墳群	古墳	古墳 (後期)
—1	飯沢古墳群 小野沢支那1号墳 (御影社古墳)	古墳	古墳 (後期)
—2	飯沢古墳群 小野沢支那2号墳	古墳	古墳 (後期)
—3	飯沢古墳群 小野沢支那3号墳 (ヤックラ古墳)	古墳	古墳 (後期)
—4	飯沢古墳群 小野沢支那4号墳	古墳	古墳 (後期)
48	小野沢遺跡	高塚址	弥生~平安
49	飯沢古墳群 飯塚支那	古墳	古墳 (後期)
50	飯塚東高古墳	古墳	古墳 (後期)
51	飯塚遺跡	塚 跡	中世
52	三木遺跡	塚 跡	中世
53	関根新田遺跡	塚 跡	中世
54	丸山経塚	経塚	平安
55	鎌倉平経塚	経塚	中世
56	関根小塚遺跡	塚 跡	中世
57	堀之内遺跡	古墳	古墳 (後期)
58	南日名遺跡	高塚址	弥生~平安
59	真夏遺跡(小塚遺跡)	塚 跡	中世
60	城崎遺跡	塚 跡	中世
61	塚本代官所跡	塚 跡	近世
62	田町遺跡群	古墳	古墳~平安
63	御所河原遺跡	墳 墓	中世
64	粟平遺跡	塚 跡	平安
65	中之島石碕遺跡	塚 跡	近世
66	塚沢古墳	古墳	古墳 (後期)
67	中之島代官所跡	塚 跡	近世
68	萩原遺跡	塚 跡	平安
69	鎌倉経塚	塚 跡	平安
70	瀬越の川遺跡 (吉野寺跡)	古墳	古墳 (後期)
71	口笠野所跡	塚 跡	近世
72	砂倉経塚	塚 跡	中世
73	高ツヤ経塚	塚 跡	中世
74	塚原山古墳	塚 跡	中世
75	地蔵沢穴貫原原田遺跡	塚 跡	近世
76	田原遺跡	古墳	平安
77	出流河遺跡	塚 跡	中世
78	上野原南東田遺跡	水田址	平安~近世
79	出流河遺跡	古墳	弥生~平安
80	村上氏経塚	経塚	中世
81	飯沢氏所跡	塚 跡	中世
82	小野沢遺跡	塚 跡	弥生~平安
83	飯沢古墳群	古墳	古墳 (後期)
—1	飯沢古墳群 五塚支那1号墳	古墳	古墳 (後期)
—2	飯沢古墳群 五塚支那2号墳	古墳	古墳 (後期)
—3	飯沢古墳群 五塚支那3号墳	古墳	古墳 (後期)
84	宮宮遺跡	高塚址	縄文~平安
85	藤原経塚	高塚址	縄文~平安
86	藤原経塚	塚 跡	平安
87	島ヤンゴン経塚	塚 跡	近代
88	島ヤンゴン経塚	塚 跡	近代
89	上平実岡経塚	塚 跡	近代
90	横吹北田原遺跡	塚 跡	近世

第二章 試掘調査の結果

1 田町遺跡群10

所在地 坂城町大字坂城6634-2他
事業主体 (株) ひらせいホームセンター
事業名 店舗建設事業
調査期間 平成26年4月7・8日
面積 5,798㎡ (780㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

田町遺跡群は、坂城町大字坂城に所在する古墳時代から平安時代にかけての散布地である。これまでも数次にわたって試掘調査が実施されたが、遺跡の状況は判然としない。

今回、(株) ひらせいホームセンターによる店舗建設事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の計画地は、入田川の形成する扇状地に位置している。店舗建設予定地を中心に、トレンチを6か所設定し、遺構の有無を確認した。

1号トレンチでは形状が不明ではあるが、堅穴状の遺構が検出された。2号トレンチでは土坑が数基検出された。3号トレンチでは溝状の遺構が検出された。4号トレンチでは形状が不明ではあるが、堅穴状の遺構が検出された。5号トレンチでは形状が不明ではあるが、堅穴状の遺構が検出された。6号トレンチでは形状が不明ではあるが、堅穴状の遺構が検出された。出土遺物が少量のため断定することは出来ないが、平安時代から中世にかけて営まれた集落ではなかったかと思われる。

遺跡は盛土保存することとした。



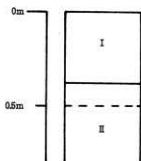
試掘調査位置図 (1 : 2500)



3号トレンチ検出状況 (東より)



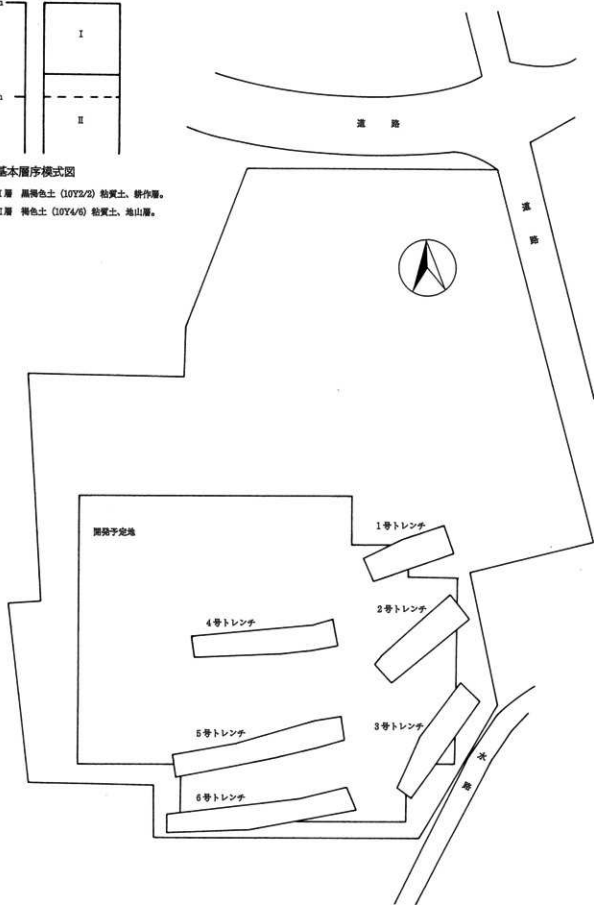
6号トレンチ検出状況 (東より)



基本層序模式図

I層 黒褐色土 (10Y2/2) 粘質土、耕作層。

II層 褐色土 (10Y4/6) 粘質土、地山層。



試掘トレンチ設定図 (1 : 700)

2 廻り目遺跡4

所在地 坂城町大字南条6698-6他
事業主体 株式会社塩沢産業
事業名 砂利採取事業
調査期間 平成26年6月2日
面積 8,901㎡ (340㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

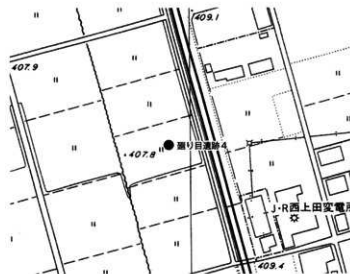
廻り目遺跡は、坂城町大字南条の千曲川によって形成された自然堤防上に立地する遺跡である。「坂城町遺跡分布図」によると、弥生時代から平安時代にかけての集落址とされている。同遺跡内ではこれまでのところ本発掘調査は実施されていないが、漁労に用いられたとされる土錘が114点採集されているほか、8世紀のものとされる須恵器の小型平瓶が採集されている。

今回、株式会社塩沢産業による砂利採取事業が計画され、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、千曲川によって形成された自然堤防上である。トレンチを4箇所設定して遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、現水田に係る耕作土を除去したところ、地表下0.4m以下は砂質層、シルト層、砂礫層が堆積していた。これらの土層を観察したが、遺構・遺物の発見にはいたらなかった。



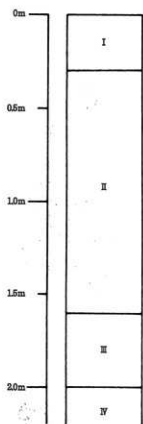
試掘調査位置図 (1:2500)



1号トレンチ検出状況 (西より)

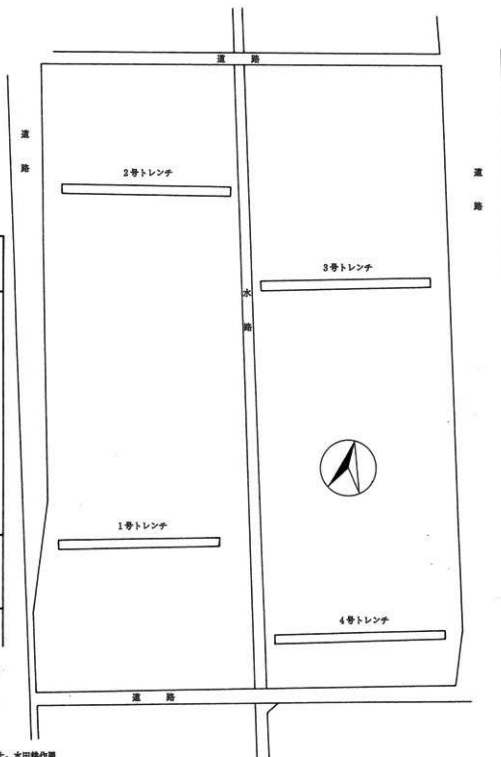


2号トレンチ検出状況 (西より)



基本層序模式図

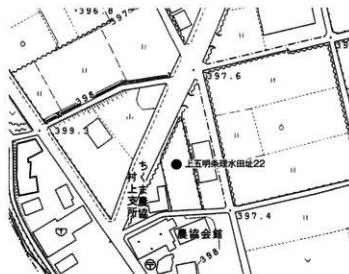
- I層 黄褐色土 (1075/6) 粘質土。水田耕作層
- II層 褐灰色土 (1074/1) 砂質土。自然堆積層
- III層 黄褐色土 (1075/6) シルト。自然堆積層
- IV層 黒褐色土 (1073/1) 砂礫。自然堆積層



試掘トレンチ設定図 (1 : 700)

3 上五明 条里水田址22

所在地 坂城町大字上五明64-1
事業主体 ちくま農業協同組合
事業名 宅地造成事業
調査期間 平成26年7月25・26日
面積 955㎡ (108㎡)
担当者 時信 武史



試掘調査位置図 (1 : 2500)

遺跡の環境と調査にいたる経緯

上五明条里水田址は、坂城町の千曲川左岸の網掛、上五明、上平に所在する千曲川沖積地に所在する遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると平安時代～中世にかけての条里水田址に位置付けられている。しかし、近年の試掘調査及び発掘調査によって、上五明地区、上平地区には古代の集落址も検出され、生産遺跡といった性格以外に集落址も存在していることが判明している。

今回、ちくま農業協同組合によって宅地造成事業が計画されたため、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、出浦沢川による扇状地に近い、比較的標高の高い場所であった。

トレンチを1箇所設定して掘り下げを行ったところ、地表下約1.5mの所にぶい黄褐色のシルト層を検出し、この層を確認面とする竪穴住居址1棟と土坑4基を検出した。

遺跡は盛土保存することとして調査を終了した。

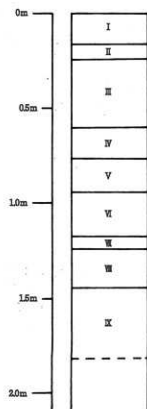


トレンチ掘削状況 (北より)

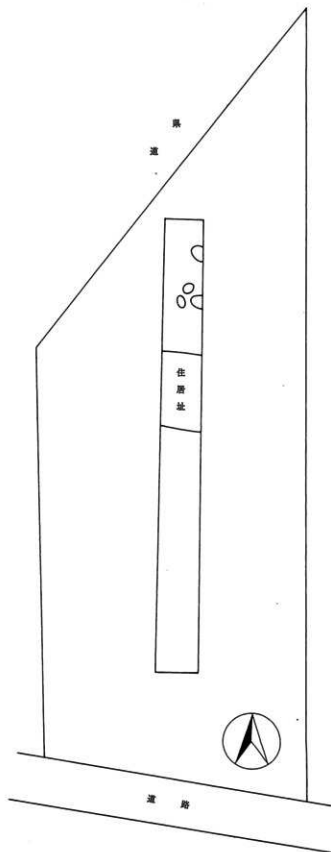


トレンチ検出状況 (北より)

- I層 褐灰色土 (10Y4/1) 粘質土、水田耕作層
- II層 黒褐色土 (10Y3/1) 粘質土、水田床土層
- III層 褐灰色土 (10Y4/1) 粘質土、盛土層
- IV層 明黄褐色土 (10Y6/6) シルト、旧水田耕作層
- V層 黄褐色土 (10Y5/6) シルト、旧水田床土層
- VI層 におい黄褐色土 (10Y4/3) シルト、旧々水田耕作層
- VII層 におい黄褐色土 (10Y5/4) シルト、旧々水田床土層
- VIII層 暗褐色土 (10Y3/3) シルト、旧炭土層
- IX層 におい黄褐色土 (10Y4/3) シルト、地山層 (遺構検出部)



基本層序模式図



試掘トレンチ設定図 (1 : 300)

4 おおぎくほいせき 大木久保遺跡 4

所在地 坂城町大字南条2036他

事業主体 坂城町

事業名 小学校改築事業

調査期間 平成26年9月24・25日

面積 23,970㎡ (68㎡)

担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

大木久保遺跡は坂城町大字南条に所在し、西方向に流下する谷川の扇状地の扇端付近、標高約415m付近に位置する。「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされている。平成13年に宅地造成事業に先だって試掘調査を実施したが、遺構等は確認できなかった。平成25年度に坂城町による小学校改築事業が計画され、遺跡の状況を確認するため試掘調査を行ったところ、住居址等の遺構が確認された。今年度は昨年度試掘調査を実施することが出来なかった場所において調査を行った。

調査の成果

調査の結果、地表下約2.7mの所で褐色の地山層を検出したが、遺構等は確認できなかった。



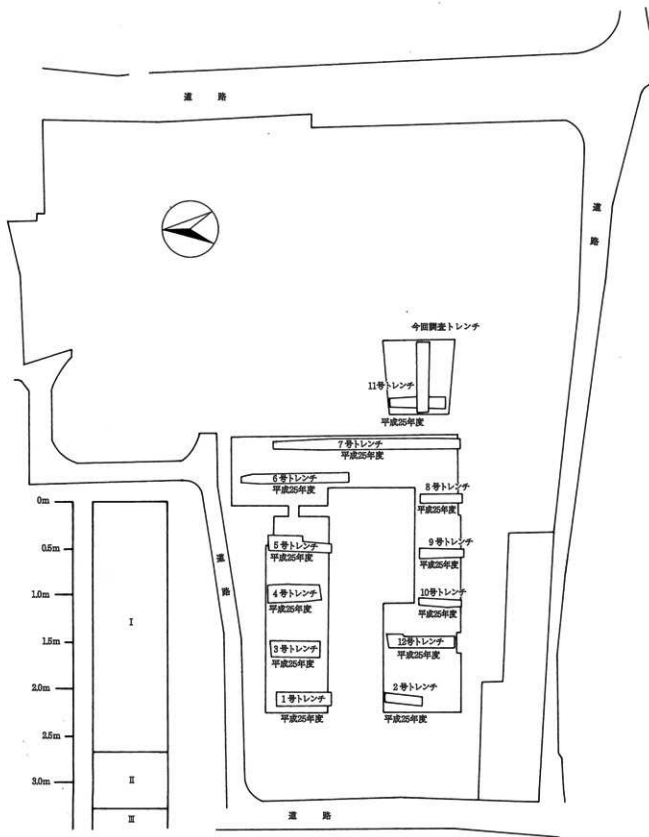
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ掘削状況 (東より)



トレンチ検出状況 (東より)



基本層序模式図

- I層 造成土層。
- II層 暗褐色土 (10Y3/2) 粘質土、塘積層。
- III層 褐色土 (10Y3/3) 砂礫土、地山層。

試掘トレンチ設定図 (1 : 1000)

5 上五明 条里水田址23

所在地 坂城町大字上五明590他
事業主体 株式会社塩沢産業
事業名 砂利採取事業
調査期間 平成26年12月24・25日
面積 8,041㎡ (248㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

上五明条里水田址は、坂城町の千曲川左岸の網掛、上五明、上平に所在する千曲川沖積地に所在する遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると平安時代～中世にかけての条里水田址に位置付けられている。しかし、近年の試掘調査及び発掘調査によって、上五明地区、上平地区には古代の集落址も検出され、生産遺跡といった性格以外に集落址も存在していることが判明している。

今回、株式会社塩沢産業によって砂利採取事業が計画されたため、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、千曲川旧流路と考えられる周辺よりやや標高の低い場所であった。

試掘調査の結果、地表下約1.6～2.5mで千曲川本流の砂利層が検出された。土層断面の観察や、遺物が出土しなかったことから、当該地には遺構は存在していないものと判断した。



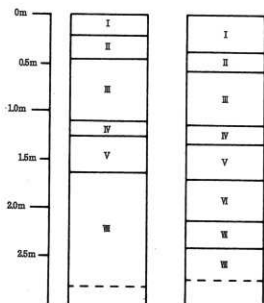
試掘調査位置図 (1 : 2500)



1号トレンチ検出状況 (東より)

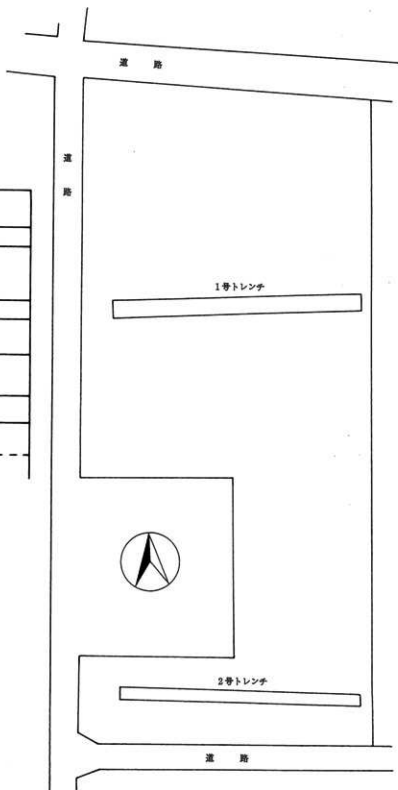


2号トレンチ検出状況 (東より)



基本層序模式図

- I層 褐灰色土 (10YR5/1) 粘質土、水田耕作層
- II層 明黄褐色土 (10YR5/6) 粘質土、水田底土層
- III層 褐灰色土 (10YR4/1) 粘質土、盛土層
- IV層 褐灰色土 (10YR5/1) 粘質土、田水田耕作層
- V層 によい黄褐色土 (10YR5/4) 粘質土、田水田底土層
- VI層 褐灰色土 (10YR5/1) シルト、堆積層
- VII層 褐灰色土 (10YR4/1) シルト、堆積層
- VIII層 黒褐色土 (10YR3/2) 砂利、堆積層



試掘トレンチ設定図 (1 : 700)

第三章 立会い調査の結果

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積 (㎡)	調査期間
1	込山遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	551	H26年4月19日～ H26年9月28日
2	南日名遺跡	クリエートコーポ レーション	坂城	太陽光パネル設置	2,074	H26年4月16日～ H26年5月31日
3	町横尾遺跡	KDDI株式会社	南条	携帯電話鉄塔建設	25	H26年5月26日～ H26年8月31日
4	中町遺跡	個人	南条	太陽光パネル設置	903	H26年7月1日～ H26年10月31日
5	込山遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	243	H26年7月1日～ H26年10月31日
6	町横尾遺跡	個人	南条	個人住宅建設	240	H26年9月6日～ H27年1月28日
7	上五明条里水田址	株式会社竹内製作所	村上	工場建設	18,803	H27年1月10日～ H27年3月31日
8	中之条遺跡群	石石化工株式会社	中之条	工場建設	8,005	H26年11月4日～ H26年12月26日
9	荒宿遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	30	H26年10月27日～ H27年2月20日
10	福沢氏館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	38	H26年10月27日～ H27年2月20日
11	鳥遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
12	出浦沢古墳群	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
13	荒宿遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
14	福沢氏館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
15	豊饒堂遺跡	上田水道管理事務所	中之条	舗装本復旧	257	H26年10月14日～ H27年1月15日
16	日名沢遺跡	上田水道管理事務所	坂城	舗装本復旧	1,128	H26年10月14日～ H27年1月15日
17	小野沢遺跡	上田水道管理事務所	村上	舗装本復旧	100	H26年10月14日～ H27年1月15日
18	上五明条里水田址	上田水道管理事務所	村上	舗装本復旧	30	H26年10月14日～ H27年1月15日
19	出浦沢古墳群	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	183	H26年11月4日～ H27年3月31日
20	鳥遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	184	H26年11月4日～ H27年3月31日
21	出浦遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	183	H26年11月4日～ H27年3月31日
22	村上上居館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	184	H26年11月4日～ H27年3月31日
23	町横尾遺跡	株式会社ファミリー マート	南条	店舗建設	1,324	H26年12月1日～ H27年1月23日
24	南条遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	10	H26年12月1日～ H27年3月31日
25	金井西遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	45	H26年12月1日～ H27年3月31日
26	金井東遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	45	H26年12月1日～ H27年3月31日
27	田町遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	71	H26年12月15日～ H27年1月19日
28	大木久保遺跡	坂城町建設課	南条	道路改良	200	H26年12月10日～ H27年2月15日
29	大木久保遺跡	坂城町建設課	南条	下水管埋設	280	H26年12月15日～ H27年3月31日
30	田町遺跡	坂城町建設課	南条	下水管埋設	15	H26年12月15日～ H27年3月31日
31	塚田遺跡	坂城町建設課	南条	下水管埋設	7	H26年12月15日～ H27年3月31日
32	町横尾遺跡	個人	南条	個人住宅建設	350	H27年1月26日～ H27年5月10日



立会い調査位置図 (1 : 25,000)

報告書抄録

ふりがな	さかきちょうないいせきはつちつちょうさほうこくしょ
書名	坂城町内遺跡発掘調査報告書 2014
副書名	平成26年度試掘・立会い調査報告書
巻次	
シリーズ名	坂城町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第45集
編著者名	時信 武史
編集機関	坂城町教育委員会
所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1 TEL 0268-82-1109
発行年月日	2015年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
田町遺跡群10	坂城町大字坂城	20521		36°27'38"	138°11'15"	2014年4月7日 2014年4月8日	780	店舗建設事業
廻り目遺跡4	坂城町大字南桑	20521		36°26'00"	138°11'22"	2014年6月2日	340	砂利採取事業
上五明 桑里水田址22	坂城町大字上五明	20521		36°27'01"	38°10'14"	2014年7月25日 2014年7月26日	108	宅地造成事業
大木久保遺跡4	坂城町大字南桑	20521		36°26'05"	138°11'37"	2014年9月24日 2014年9月25日	68	小学校改築事業
上五明 桑里水田址23	坂城町大字上五明	20521		36°27'08"	38°10'11"	2014年12月24日 2014年12月25日	248	砂利採取事業

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
田町遺跡群10	散布地	古墳～平安	住居址ほか	土師器	
廻り目遺跡4	集落址	弥生～平安	なし	なし	
上五明桑里水田址22	水田址	平安～近世	住居址ほか	なし	
大木久保遺跡4	集落址	縄文～平安	なし	なし	
上五明桑里水田址23	水田址	平安～近世	なし	なし	

坂城町埋蔵文化財調査報告書

	「開畝製鉄遺跡—第1次調査報告書」	
	「開畝製鉄遺跡—第2次調査報告書」	
	「東臺遺跡」	
	「中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅱ」(概報)	
	「南条遺跡群 塚田遺跡」	
第1集	「南条遺跡群 東臺遺跡Ⅱ・青木下遺跡」	1994
第2集	「町内遺跡発掘調査報告書」	1994
第3集	「町内遺跡発掘調査報告書」	1995
第4集	「南条遺跡群 塚田遺跡Ⅱ」	1995
第5集	「豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺浦遺跡・東町遺跡」	1996
第6集	「中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅱ」	1996
第7集	「中之条遺跡群 上町遺跡Ⅱ」	1996
第8集	「上五明糸里水田址」	1996
第9集	「町内遺跡発掘調査報告書1996」	1996
第10集	「坂城町試掘調査・立会い調査報告書」	1996
第11集	「町内遺跡発掘調査報告書1996」	1997
第12集	「戊久保・町横尾遺跡」	1998
第13集	「込山Bほか 発掘調査報告書 1997」	1998
第14集	「町内遺跡発掘調査報告書1998」	1999
第15集	「町内遺跡発掘調査報告書1999」	2000
第16集	「開畝遺跡Ⅲ」	2000
第17集	「中之条遺跡群 北川原遺跡Ⅱ」	2001
第18集	「町内遺跡発掘調査報告書2000」	2001
第19集	「中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」	2001
第20集	「金井東遺跡群 保地遺跡Ⅱ」	2002
第21集	「町内遺跡発掘調査報告書2001」	2002
第22集	「町内遺跡発掘調査報告書2002」	2003
第23集	「豊饒堂遺跡Ⅲ」	2004
第24集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2003」	2004
第25集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2004」	2005
第26集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2005」	2006
第27集	「込山遺跡群 込山C遺跡Ⅱ・Ⅲ」	2006
第28集	「込山遺跡群 込山D遺跡Ⅰ」	2007
第29集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2006」	2007
第30集	「南条遺跡群 青木下遺跡Ⅱ・Ⅲ」	2007
第31集	「開畝遺跡Ⅳ」	2008
第32集	「町横尾遺跡Ⅱ」	2008
第33集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2007」	2008
第34集	「中之条遺跡群 上町遺跡Ⅳ・Ⅴ」	2009
第35集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2008」	2009
第36集	「中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅳ」	2010
第37集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2009」	2010
第38集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2010」	2011
第39集	「町横尾遺跡Ⅲ」	2012
第40集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2011」	2012
第41集	「中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅴ」	2013
第42集	「中之条遺跡群 山口遺跡Ⅰ」	2013
第43集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2012」	2013
第44集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2013」	2014
第45集	「坂城町町内遺跡発掘調査報告書2014」(本書)	2015

坂城町埋蔵文化財調査報告書第45集

坂城町町内遺跡発掘調査報告書2014

発行日	2015年3月31日
編集者	坂城町教育委員会
	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城 6362-1
	TEL 0268 (82) 1109
印刷者	信毎書籍印刷株式会社
	〒381-0037 長野県長野市西和田1丁目30番3号
	TEL 026 (243) 2105